

# 山梨大学教職大学院

## 第14回教育実践フォーラム

### いまあらためて、教師の学びを考える

【日時】平成29年2月11日(土) 9:30~16:55

【場所】山梨大学甲府西キャンパス

〈教職大学院生 研究発表〉 総合研究棟 (Y号館) 1階 Y-11, Y-12, Y-15 教室  
 午前の部 9:30~11:30 (受付開始 9:10)  
 午後の部 13:05~15:05 (受付開始 12:40)

〈進学相談〉 総合研究棟 (Y号館) 1階 Y-14 教室 (研究発表時間内)

〈講演〉 N号館 1階 N-11 教室 15:25~16:55 (受付開始 15:00)

## 「教職大学院の学びー中村享史教授を偲びつつー」 寺崎 弘昭 教授 (山梨大学教職大学院)

【主催】山梨大学教職大学院

【後援】

山梨県教育委員会 甲府市教育委員会 南アルプス市教育委員会  
 甲斐市教育委員会 中央市教育委員会 昭和町教育委員会  
 韮崎市教育委員会 北杜市教育委員会 山梨市教育委員会  
 甲州市教育委員会 富士川町教育委員会 身延町教育委員会  
 西桂町教育委員会 富士河口湖町教育委員会 大月市教育委員会  
 上野原市教育委員会

【対象者】どなたでも無料で参加できます。(当日参加可)  
 研究発表または講演のみの参加も可能です。

アクセス

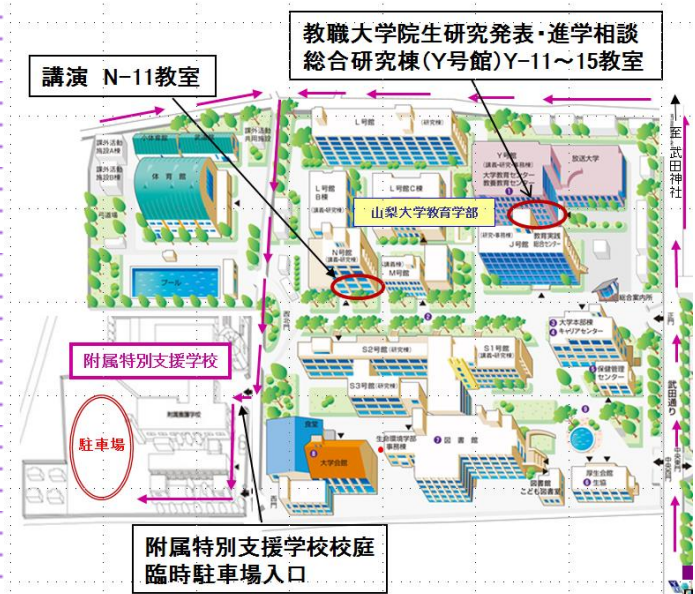
【バス】JR 甲府駅北口から「武田神社」または「積翠寺」  
 行きに乗車、「山梨大学」下車(約5分)  
 【徒歩】JR 甲府駅北口から武田通りを北上(約15分)

【臨時駐車場】山梨大学教育学部 附属特別支援学校 校庭 (8:50~17:30)

※構内駐車の利用を希望される方は、本学特別支援学校校庭を臨時駐車場として開放します。

※会場のあるキャンパス内には駐車できません。

※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関の御利用をお願いします。



# 山梨大学教職大学院第 14 回教育実践フォーラム

## 教職大学院生 研究発表

平成29年2月11日(土) 山梨大学(甲府西キャンパス) 総合研究棟(Y号館)1階

開始時刻	第1会場 (Y-11 教室)	第2会場 (Y-12 教室)	第3会場 (Y-15 教室)
9:30 — 9:50	<b>永田 真一郎(*高)</b> 「気づき」を重視したライティング指導—中学生の誤答分析から中高接続を考える—	<b>森澤 公美子(*高)</b> 専門学科における「総合的な学習の時間」を通じた進路探求について	<b>土屋 雄一(*小)</b> 通常学級における特別に支援を要する児童への支援の在り方
9:55 — 10:15	<b>野木 紹吾</b> 中学校英語科における教員の効果的なICT機器活用	<b>有野 秀一</b> 高等学校体育のマット運動における視覚的認知に基づく技能習得の指導	<b>名取 美優</b> 特別支援学級と通常学級間の交流及び共同学習のあり方
10:20 — 10:40	<b>水上 拓紀(*中)</b> 数学的な考え方を定着させる授業の創造—学習シートの作成を通じて—	<b>市川 真寛</b> 知識の意味を実感できる高校化学授業—生徒の見方・考え方の成長を目指して—	<b>齋藤 知美(*小)</b> 対話を通して学びを深めるための授業づくり—国語科における文学教材を中心として—
10:45 — 11:05	<b>苅米 大亮</b> 中学校数学における主体的に学ぶ子どもを育てる授業の在り方—生徒が見通しをもち、学ぶ場面の追求—	<b>山下 節子(*小)</b> しなやかな心の育て方—子どものレジリエンスを高める教育実践—	<b>清水 ゆき菜</b> 苦手意識がある児童が楽しんで書くことができる授業の手立て—伝えたいことを文章にする過程のサポートを通して—
11:10 — 11:30	<b>近藤 千佳(*中)</b> 生徒が問いをもつ中学数学の授業づくり—主体的活動をひきだす授業者の役割を考える—	<b>上杉 春樹(*小)</b> 児童の人間関係の深化を促す試み—学級活動の充実を通して—	<b>武井 武(*中)</b> 古典の学習における「創作」の要素を取り入れた言語活動の試み—中学生が主体的に古典を学ぶために—
(休憩)			
13:05 — 13:25	<b>河西 絵美(*小)</b> 自他の考えを認め合える算数授業づくり—子どもの考えをつなぐ手立て—	<b>善積 圭太</b> 考えることを促す中学理科授業の工夫—「進化」単元でのグループ活動と発問を中心に—	<b>小笠原 咲</b> 小学校社会科における児童の資料解釈に基づく歴史学習—戦後史の場合—
13:30 — 13:50	<b>末木 貴大</b> 児童の説明する活動でつくる算数授業—「単位量あたりの大きさ」の授業実践を通して—	<b>原田 佑一</b> 中学理科における学ぶ意欲を高める授業づくり—生徒の「疑問」を解決する実践を通して—	<b>杉田 吏</b> 生徒の歴史的思考力を育成する高校世界史授業のあり方
13:55 — 14:15	<b>長野 楓</b> 算数科授業における思考を促す手立て	<b>鶴田 真樹(*小)</b> 初等理科授業における予想と考察の充実を図る指導の工夫—対話とワークシートの活用を通して—	<b>石坂 隆至(*高)</b> 単元を貫く問いに基づく高校世界史授業—「歴史アクティビティ」を活かして—
14:20 — 14:40	<b>志村 克人(*小)</b> 児童が互いの考えをつなげる授業づくり—算数科での授業実践を通して—	<b>土屋 晃喜</b> 初等理科授業における観察・実験をより効果的にする「予想」の充実—話し合い活動の実践を通して—	<b>窪田 幸彦(*高)</b> 問いを基軸とした 探究的教授による高等学校地理授業—ワークシートと教科通信の活用を通して—
14:45 — 15:05	<b>梶原 裕一郎(*小)</b> 算数科における思考力・表現力を高める指導の在り方—問いの共有を通じた主体的な学びを育む授業づくり—	<b>齋藤 賢一(*小)</b> 科学的な思考・表現を育てるOPPシート活用の研究—考察・解釈の交流による充実を通して—	

※\*印の発表者は現職教員の院生です。小・中・高は校種を表しています。

※自由に会場(教室)を移動して、関心のある発表をご覧ください。

※研究発表と並行して、今年進学相談(Y-14教室)を行います。